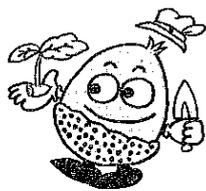


# ネイチャークラブ会報

SINCE 1996



JREU



第 191号

発行日：2022年11月13日

発行責任者：西垣 栄義

編集者：会報編集委員会



## JR 東労組ネイチャークラブ 第26回総会第26回例会開催報告



第26回総会第26回例会を盛岡地本準備のもと10月23～24日に開催しました。今回は初日に例会、2日目を総会としました。23日(日)の例会はバスで盛岡駅を出発し岩手県八幡平市で取り組んでいる八幡平ふるさとの森づくり植樹会場を目指しました。バスの車内で盛岡地本サークル協議会内藤議長より森づくりの経過や苦勞、取り組んだ成果など参加者へお話いただきました。途中、松尾鉱山資料館へ寄り職員の説明を受けながら松尾の歴史を学びました。八幡平ふるさとの森づくり植樹会場ではクマの出没に注意し長年森づくりに貢献された泉山忍さんより現地で説明を受けました。現地での見学途中、小雨に見舞われ標高の高い場所で寒さが厳しくなり予定より早めに現地を後にしました。私たちが試行錯誤しながら丁寧に育てた木々がたくましく地に根をはっている姿を見ることができました。

その後、盛岡地本こぶし会館へ移動し昨年開催を見送った交流会を行いました。交流会の前段において八幡平ふるさとの森づくり活動をまとめたビデオを鑑賞し例会の意義を振り返りました。盛岡地本佐々木委員長にも駆けつけていただき会は盛況に終わりました。



3年ぶりに開催した例会



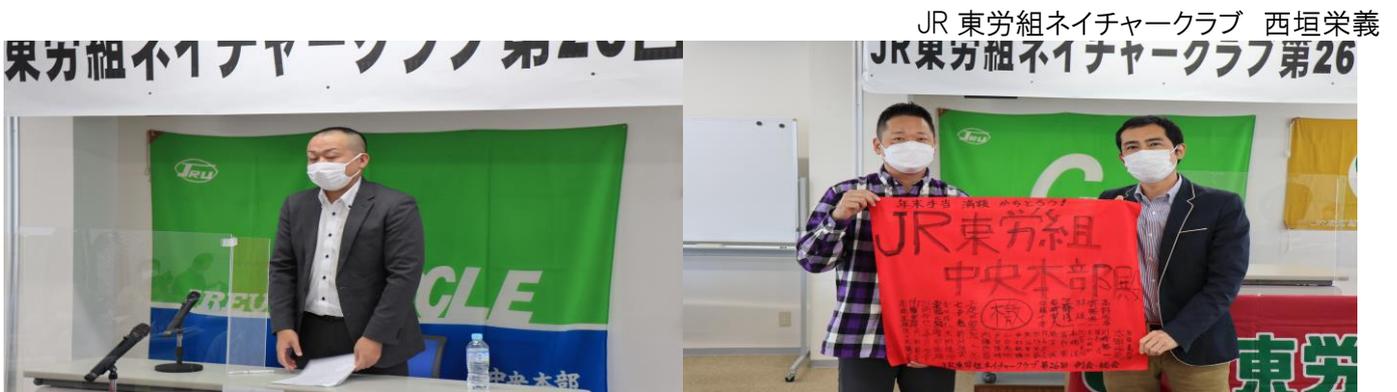
泉山さんより説明を受ける



翌24日(月)は第26回総会を盛岡地本会議室にて開催しました。主催を代表してネイチャークラブの幹事会など運営は定期的に行えた、組織拡大の方策やネイチャークラブの担い手づくり、JR 東労組サークルで奮闘していくことをあいさつさせて頂きました。多くの来賓の皆さまにご参加いただきました。中央本部加藤書記長からジョブローテーションのありかた、国土交通省の有識者会議で赤字路線の存廃についての提言は政治介入ではないか、年末手当の交渉状況等、ご挨拶いただきました。盛岡地本浅沼副委員長より岩手県沢内村の元村長、深沢晟雄(まさお)氏が多くの村民を救ったとして今なお尊敬されていることを紹介し労働組合にも通ずる話がありました。質疑では8名から発言があり方針を豊富化していただきました。活動方針、総会宣言、役員選出の承認を受け総会を終えました。最後に中央本部宛てに参加者で取り組んだ年末手当に対する檄布を加藤書記長に手渡しました。

総会終了後、講演として美世志会齊藤さんと JR 総連山口委員長との対談形式で行い弾圧当時を振り返り抗するたたかいを思い起こし、現実にも目をそらさず職場での実践で現状を打破していく教訓を学びました。

泊りでの開催に当日まで不安を感じていましたが総会例会合わせ41名の参加で無事に終えることができました。盛岡地本ネイチャークラブを中心として準備を担っていただきました仲間、また関係する仲間へ感謝申し上げます。



議長を務めた秋田地本・高橋執行委員

年末手当要求満額勝ち取る

役員体制 部長 西垣栄義 大宮運転区 副部長 佐々木勝美 八戸運輸区 事務局長 内藤宜成 さいたま車掌区  
 幹事 高杉貢 弘前駅連合 岩崎幸夫 盛岡運輸区 青田隆弘 宮城野運輸区 栗脇正裕 横浜運輸区